特集 災害に備える！

備えや対策が大事ですよね

日本は、世界有数の自然災害大国であり、最近では、地震や台風、豪雨が多発しています。
日頃から防災対策をしておくことで、被害を少なくすることができます。防災対策で大切なことは、一人一人が取り組む「自助」です。災害への備えをもう一度確認してみましょう。

防災対策 1 停電に備える

停電時でも電気が使える方法をご紹介します

ガスから電気とお湯をつくる！
停電時も安心なエネファーム

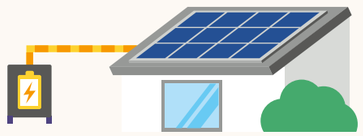
「停電時あんしん発電」で停電中も電気とお湯が使えます。

ポイント1　**最大500Wまでの電力が使える。**（停電時専用コンセントから使えます。）

ポイント2　**最長8日間（192時間）使える。**

2019年の千葉県エリア停電時において、エネファームの自立発電により電気とお湯を継続利用でき、大変助かったというユーザーさまの声が数多く寄せられました。

エネルギーを自産自消する
太陽光発電 ＋ 蓄電システム



太陽光でつくった電気を蓄電システムにためて、かしこく使います。

停電時　**日中は太陽光で作った電気を、夜は蓄電システムに蓄えた電気を使用します。**

太陽光発電システムで発電しながら、余った電力を蓄電します。蓄電システムの種類は様々で、「蓄電用量」が大きいと長い時間使え、「容量」が大きいとより多くの家電製品が使えます。

家電の使用も可能！
ガス給湯器 停電対応ユニット

リンナイの給湯器なら万が一停電となった場合でも、ガスと水道が使用可能であれば、停電対応ユニットを自動車のアクセサリーソケットに接続してお湯が使えます。（給湯能力が制限されます。給湯のみ使用可能です。湯はり、おいだき、温水暖房は使用できません。）

ラジオや携帯電話の充電、ガスファンヒーターにも使用できます。（1200Wまで。）

メーカー希望小売価格
¥26,800（税抜）

防災対策 2 断水に備える

TOKAIグループ OTS HOUSE がお届けするオプションプラン

非常用貯水機能付き給水管
Multi Aqua（マルチアクア）

付属品の足踏みポンプで非常時に使えます。

マルチアクアの3つの特徴

マルチアクアとは、
水道管の一部として屋外に設置し、120ℓの「飲料水・生活水」を貯めることができる給水管です。

安心な貯水容量　4人家族3日分

マルチアクア1本120ℓで4人家族3日分の飲料水とトイレ水や衛生水などの生活水を確保できます。

1人当たり1日に10ℓ ＝ 飲料水 3ℓ ＋ トイレ 5ℓ ＋ 衛生水 2ℓ

安全な水を保つ

水道管の一部としてマルチアクアを設置しますので、常に新鮮な水道水と入れ替わります。内部は空気に触れない構造で清潔な水を利用できます。

省スペース設計

マルチアクアの設置は、生活スペースとして使用しない屋外などのデッドスペースを利用し、メンテナンスも不要です。

生活用水の確保

断水に備えて飲料水を確保するほか、浴槽に水を張るなどして生活用水を確保しましょう。

実は TOKAIの「おいしい水の宅配便」は備蓄水にも最適！

おいしい水の賞味期限は半年なので災害対策の備蓄水に最適。
スタンダードサーバーは停電時でも非常時の給水としてご利用可能です。
（温水、冷水の機能は損なわれます。）

防災対策 3 くらしの備え

地震が発生した時に備えて、転倒防止対策をしましょう

転倒防止対策

家具が転倒しないよう、家具は壁に固定する

寝室や子ども部屋にはできるだけ家具を置かない

置く場合は、なるべく背の低い家具にし、倒れた時に出入口をふさぐことのないように工夫する。

手の届くところに懐中電灯やスリッパホイッスルを備える

避難経路の確認

- 別々の場所にいるときに災害が発生した場合でも、日頃から安否確認の方法や集合場所などを話し合っておきましょう。
- 防災マップやハザードマップで、避難場所、避難経路を事前に確認しておきましょう。

食料・飲料の備蓄

備蓄の例

- ■飲料水　人数分×3日分（1人1日3リットルが目安）
- ■非常食　人数分×3日分の食料として、ご飯（アルファ米など）、ビスケット、板チョコ、乾パンなど
- ■トイレットペーパー、ティッシュペーパー、マッチ、ろうそく、カセットコンロなど

※大規模災害発生時には、「1週間分」の備蓄が望ましいとされています。

防災対策に関してはお気軽にお問い合わせください！ ➡ お問合せ　東海ガスショールームくりっぴープラザ　TEL.054-646-2711（10:00～17:00　水曜定休）